

# 新幹線がやって来た！ 北陸新幹線W7系試験走行 歓迎セレモニーに密着

2023年10月1日、北陸新幹線（金沢・敦賀間）の試験走行の開始を記念して、小松・敦賀間の各駅で試験走行列車を歓迎するセレモニーが行われました。各駅に集まった参加者は、総勢3,000人以上。沿線にも多くの方が駆けつけ、開業を5カ月半後に控えた北陸新幹線を盛大に歓迎しました。

文・写真：栗原 景 (フォトライター)

## W7系試験走行に 子どもたちも大興奮—小松駅

朝9時、石川県の小松駅には早くも大勢の参加者が集まってきました。2024年3月16日に予定している北陸新幹線（金沢・敦賀間）開業まで、あと167日。2023年5月27日に全てのレールがつながり、同年9月23日からは新幹線電気・軌道総合検測車（East-i）や、営業用車両を使用した試験走行もスタートしました。

この日は沿線の方々への北陸新幹線のお披露目日。金沢駅から敦賀駅まで試験走行列車（W7系）が運行

され、新規開業となる6つの駅で、「北陸新幹線W7系試験走行歓迎セレモニー」が開催されます。

まず参加者は、小松駅に隣接する公立小松大学中央キャンパスに集合。総参加人数は約530人で、公募による倍率は約4.8倍にものぼりました。

この日、お父さんと一緒に参加した金沢市に住む中野敬斗くんは、北陸新幹線（長野・金沢間）が開業した2015年生まれの8歳。北陸鉄道で活躍している、元京王井の頭線の車両が大好きという鉄道ファンで、「北陸新幹線が開業したら、初日に

乗って福井に行きたい！」と話してくれました。

9時30分、係員の案内で、参加者が駅に移動を始めました。入口のフェンスが取り除かれ、姿を現した小松駅新幹線コンコース。県産木材や、日華石といった地場産材を取り入れ、小松らしさを感じられる空間



靴にカバーを着けてホームに向かう参加者

です。開業前のため、参加者は入口で靴にカバーを着けてからホームに向かいました。

10時35分。小松市消防音楽隊が奏でる「銀河鉄道999」をバックに、12両編成のW7系がゆっくりと小松駅のホームに入ってきました。500人余りの参加者が、「WELCOME KOMATSU」と書かれた旗を振って迎えます。試験走行に使用され



子どもたちが旗を振って試験走行列車（W7系）を歓迎

る車両は、JR西日本W7系W13編成。金沢・敦賀間の開業を見据えて2021年12月に増備された新しい編成です。

列車が完全に停止すると、歓迎セレモニーが始まりました。冒頭、挨拶に立った馳浩石川県知事は、「秋の空……」と、整備計画決定から50年の時を経て完成・開業を迎える北陸新幹線（金沢・敦賀間）への思い



挨拶する馳石川県知事



北陸新幹線車両W7系試験走行  
小松駅歓迎セレモニー  
2023年10月1日(日)



①宮橋勝栄小松市長を交え記念撮影する子どもたち ②この日を楽しみに家族で参加



③駅長と記念撮影



福井駅新幹線コンコース（上）  
福井駅新幹線駅舎とえちぜん鉄道福井駅（左）



地元越前ガニのかぶり物で盛り上げる情熱駅長の皆さん

### 福井らしさが詰まった セレモニー—福井駅

小松駅を発車した列車は、真新しい線路をゆっくりと走り、11時50分に加賀温泉駅、12時40分に福井県の芦原温泉駅に停車しました。どちらの駅も約500人の参加者が旗を振って大歓迎。加賀温泉駅では加賀温泉郷の女性団体「レディー・カガ」の皆さんが、芦原温泉駅ではあわら温泉女将の会の会長が運転士に花束を贈呈しました。

福井県の県庁所在地にある福井駅東口（一乗谷口）にも、正午前から参加者が集まってきました。公募による定員は300人のところ1,538人の応募があり、倍率は6駅で最高となる5.1倍となったそうです。

「新幹線が来たぞ、新幹線が来たぞ、やったー！」

コンコースで赤い越前ガニのかぶり物をして喜びを表現しているグループは、福井県が県民から1,000人を募集した「情熱駅長」の皆さんです。思い思いのスタイルで北陸新幹線の試験走行を祝い、沿線で開業プロモーション動画の撮影を行っています。

新たに完成した福井駅新幹線駅舎は、一乗谷朝倉氏遺跡にある唐門をモチーフとした木調のルーバーを特徴とし、県産木材や和紙を使用した歴史を感じさせるデザインで、福井の新たな玄関口となります。

この日は、駅舎内にある福井市観光交流センターもオープン。午前中に行われた開業式典では、市内の子

どもたちによる「新幹線開業ウェルカムダンス」が披露されました。

福井駅の新幹線ホームは、1本の島式ホームの両側に上下の列車が発着する1面2線。その先端にセレモニー会場が設けられ、列車到着に先立ち、主催者と来賓の挨拶が行われました。来賓として登壇した杉本達治福井県知事は、「3月16日の開業に向けて、全国の皆さんへのおもてなしやプロモーションをはじめ、北陸新幹線が開業することによる二次交通の整備などに全力を注いでいきたい」と述べました。

13時50分、ホームに列車が入ってきました。ホームでは、大勢の参加者が福井市のキャラクター「福いネ！くん」が描かれたうちわを振り、スマホやカメラのシャッターを



美浜町からやって来た谷口さんご一家。動画撮影もばっちり 「開業を心待ちにしています」と語る知見さんご夫妻 妻のあすかさんが応募したという杉谷さんご一家

切って迎えます。

セレモニー会場では、地元の小学生から運転士へ花束が贈呈され、福井らしく恐竜のかぶり物をした小学生や、関係者によるくす玉開披が行われました。14時20分、東村新一福井市長の「出発進行！」の合図とともに、列車は再び敦賀へ向けて走り出しました。

### 600人以上が大歓迎 —敦賀駅

次の越前たけふ駅は、6つの新規開業駅で唯一在来線と接続していない駅。当日はJR武生駅前にある越前市役所からシャトルバスが運行され、福井県立武生高校吹奏楽部が演奏する中、約500人の参加者が列車を迎えました。

そして、北陸新幹線の新たな終着駅、敦賀駅へ。大阪・名古屋方面への乗り換え駅となる敦賀駅は2面4線の大規模な駅で、乗り換えの利便性を考慮して、改札には整備新幹線としては最多の19通路が用意されています。歓迎セレモニーに集まった参加者も、6駅では最多となる680人。先ほど福井駅で列車を見送ったばかりの杉本福井県知事も駆けつけました。

16時05分、ホームの彼方にLEDライトがきらりと光り、1日かけて新線区間を走ってきた列車が敦賀駅に入ってきました。盛んに旗を振る参加者の熱気も最高潮。

親子4人で熱心に旗を振っていたの

は、美浜町に住む谷口さんご一家です。

「結婚した時、新婚旅行で金沢から軽井沢まで新幹線に乗りました。敦賀まで開業したら、今度は家族4人で東京まで乗りたいですね！」

また、お二人で旗を振っている仲の良さそうなお夫婦はおおい町の知見さんご夫妻。北陸新幹線の開業を長年心待ちにしている、今回のセレモニーも真っ先に応募したそう。

「なかなか当選のはがきが届かなくて、もうダメかなと思っていた矢先に届いたので、うれしくて」

式典では杉本福井県知事や米澤光治敦賀市長らが挨拶に立ち、地元の小学生から運転士への花束贈呈、くす玉開披と続きました。そして16時35分、1日の長旅を終えた試験走行列車（W7系）は、多くの参加者に見送られて、ゆっくりと敦賀車両

基地へ帰って行きました。

こうして、沿線の皆さんにお披露目された北陸新幹線（金沢・敦賀間）。その後も夜間を中心に連日試験走行が順調に行われ、11月には営業最高速度である260km/h走行を達成しました。地元の開業への期待は大いに高まっています。

3月16日の金沢・敦賀間完成・開業はもう目の前。最後の準備と訓練が、安全第一で進められています。



敦賀駅での歓迎セレモニー



福井駅に到着した試験走行列車（W7系）



福井駅での花束贈呈



敦賀駅に到着した  
試験走行列車（W7系）